

議事録

平成25年度 第2回学校協議会

日時：11月19日（火）5時～7時半

出席者（敬称略）計13名：委員（中島、関、伊原、山澤、梅本）
准校長、教頭、事務部長、橋本、土井、内田、藤下、島内

1、准校長挨拶

2、協議

・授業アンケートについて（准校長より）

年2回、生徒に記入してもらっているが項目が多く生徒にとっては大変な作業である。結果データの信憑性には疑問があり、結果データの取り扱いには注意が必要。

・夜桜タイムズについて（准校長より）

学校の広報として毎月発刊している。今年の9～11月号までを例示して説明。

・来年度入試について（准校長より）

今年度は入試ミスの問題がおこり、教育委員会では、対策案を考案中とのこと。

・教務部からの報告（内田先生より）

学校経営推進費にて、電子黒板機能付きプロジェクターが10台設置される予定。

・進路指導部からの報告（藤下先生より）

就職活動中の生徒はわずか3名。内定者は2名のみ。自分の進路をしっかりと決めることのできる生徒が少ない。一年生から桜学を活かして就職活動支援を行っていく必要がある。

・生活指導部からの報告（土井先生より）

教員は一人ひとり丁寧に指導してくれている。ここ最近是对教師暴言での停学が多い。懲戒的な停学ではなく、毎日の登校指導を行い根気強く続けており、少しずつではあるが効果は出ているので今後も続けていく。

・学校行事について（教頭より）

夜桜通信は年2回発行し家庭に郵送。12月号については現在作成中。夏号を例示。

・全体についての意見（委員より）

- 授業アンケートは、本当に手間がかかる作業であり、夜桜には合わないのでは。
- 生徒指導や、進路指導等々、全体的に教員は苦勞している事がとてもよくわかる。
- 世の中が結果主義になってしまい、やる気が出ない子どもが多くなってきている。教育現場でさえ結果主義なので、教員も大変な仕事になってしまっている。

3、授業見学について

・生物 4-1 内田先生

電子黒板を上手く使いこなしていて、視覚的でとてもわかりやすい授業だった。
教師全員が使いこなせるかが今後の問題になる。

・英語オーラル 2-2 徐・LIZ先生

ネイティブの先生がいるのは、定時制にしては珍しい事であり、良い事である。
生徒の中にも音感が鋭い子がいたので、とても効果的である。

4、閉会の言葉

次回の第3回学校協議会は平成26年2月上旬を予定